

[復興重点施策 4] 地域コミュニティの再生と展開

震災による被害は、地区公民分館などの地域のコミュニティ拠点とその活動に悪影響を及ぼし、また、コミュニティや生きがいつくりの一翼を担っていたアクアリーナや生涯学習センター、各種スポーツ施設にも多大な被害をもたらしました。

地域拠点や中心部のにぎわいを取り戻し、住宅や地域の再生と併せ、人と人とのコミュニティを大切にしまちづくりの展開に取り組みます。

1. 地域コミュニティの再生

被災した地域の住宅復興と併せ、地域のコミュニティ拠点であり、防災・福祉拠点でもある地区公民分館を迅速に復旧します。

□被災地域の新たな居住系拠点の確保 [520 戸]

地域コミュニティに配慮し、新たな居住系拠点を平成 27 年度までに整備することを目標に設置

(1) 松ヶ浜字西原付近	50 戸
(2) 菖蒲田浜字後田付近	100 戸
(3) 花淵浜字笹山付近	250 戸
(4) 花淵浜字館下付近	100 戸
(5) 吉田浜字東君ヶ岡付近	20 戸

※1 戸当たり 70 坪として算出・戸数は提供可能見込戸数

□災害公営住宅の建設 [200 戸]

被災した町営住宅の復旧と併せ、地域コミュニティに配慮した災害公営住宅を、早ければ平成 25 年度、遅くとも平成 26 年度までに整備することを目標として建設 (200 戸)

[建設場所] 松ヶ浜・菖蒲田浜・花淵浜・吉田浜・代ヶ崎浜
[建設種別] 2DK タイプ・3DK タイプ・LSA(高齢者対応)

□被災した地区公民分館の復旧 [7 地区]

地震と津波により被災した 7 地区の公民分館を、遅くとも平成 26 年度までに復旧

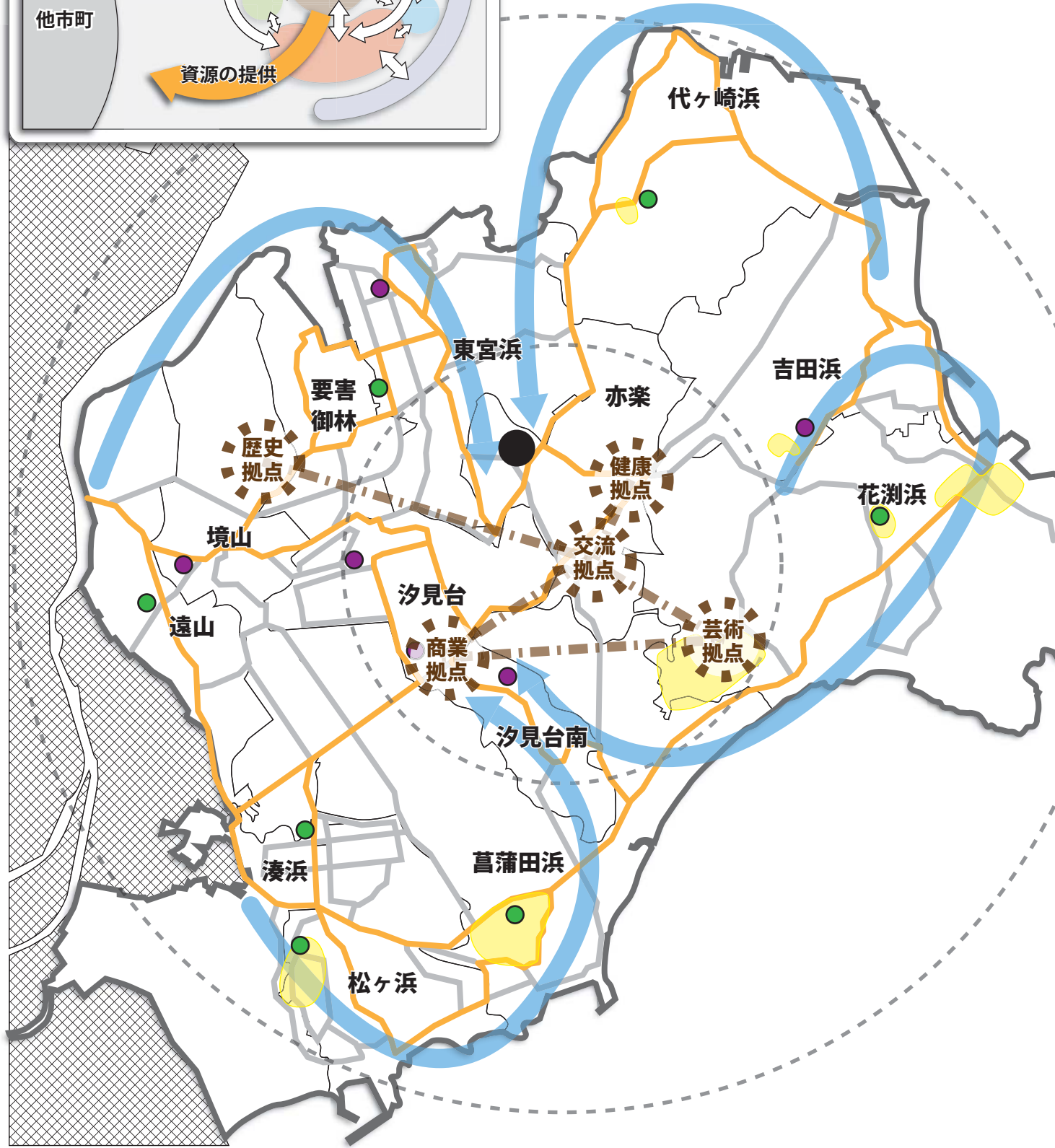
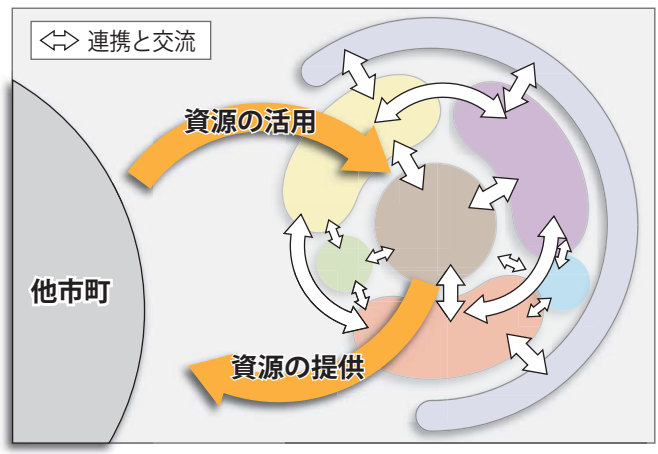
[該当地区] 湊浜・松ヶ浜・菖蒲田浜・花淵浜・代ヶ崎浜・要害・遠山

2. コミュニティに配慮した都市基盤の整備

町内の地域と中心部はもちろんのこと、他市町からのアクセスに配慮した交通網などの整備や、高齢者などに配慮した利用しやすい都市基盤の整備に取り組みます。

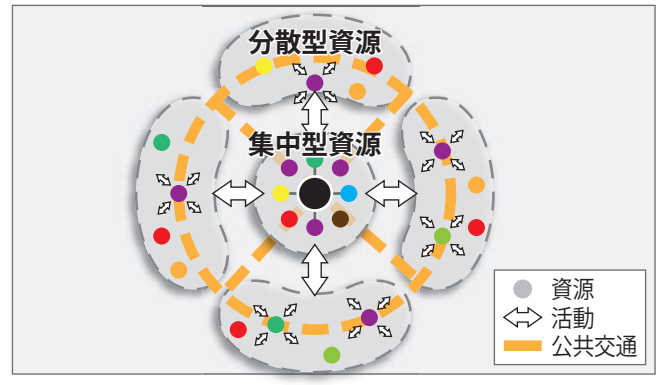
- ・居住系拠点に配慮した公共交通の整備
- ・居住系拠点と中心部のにぎわい創出ゾーン(健康拠点・交流拠点・芸術拠点・商業拠点)を結ぶ交通網の整備
- ・居住系拠点と他市町の都市基盤(公共施設・医療など)を結ぶ公共交通の整備
- ・地区公民分館や新たな居住系拠点の整備にあたっては、段差をなくすなど、高齢者などに配慮したユニバーサルデザインの導入

□中心部と地域の連携、政策ゾーン間の連携はもちろんのこと、他市町との双方向のコミュニティ形成により、長期的なビジョンに立ったまちづくりを展開

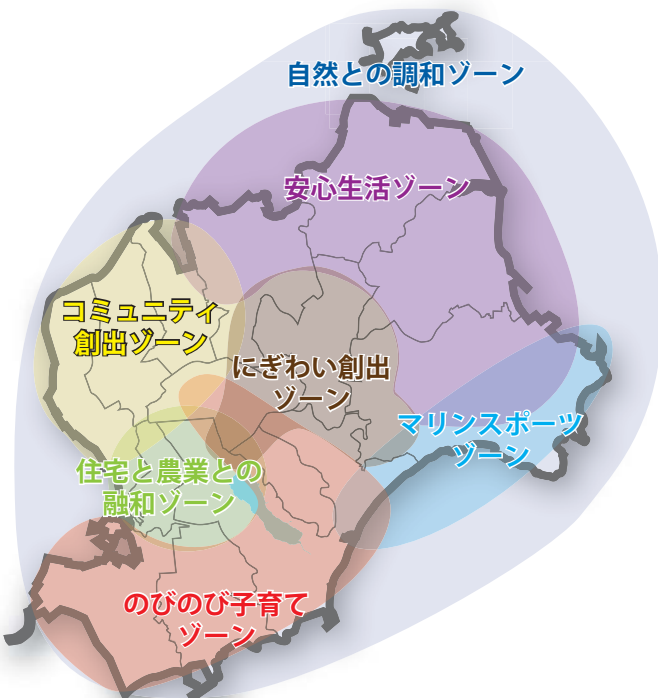


□地域コミュニティや資源の連携

- 集中型資源 [中心部にある公共施設]
集中型資源間の政策的な連携による資源の有効活用
- 分散型資源 [地区公民分館など]
単機能型から多機能型資源への転換・地区の活動や、にぎわい拠点としての役割



□長期総合計画の政策ゾーン



- ### 凡例
- 居住系拠点(災害公営住宅含む)
 - にぎわい創出ゾーンの拠点
 - バス路線
 - 地区からの導線イメージ
 - 地区公民分館 [既存]
 - 地区公民分館 [改築]
- 町道七ヶ浜縦断線と町道七ヶ浜横断線の交差部分を中心として、本町を半径 1km と 2.5km の円で囲んだ場合の図形を示したものの